

## 平成 20 年度当初予算 施策別概要

### 4 2 2 森林のもつ公益的機能の 発揮

( 主担当部 : 環境森林部 )

- 42201 環境林整備の推進 ( 環境森林部 )
- 42202 生産林整備の推進 ( 環境森林部 )
- 42203 森林づくりへの県民参画の推進 ( 環境森林部 )
- 42204 森林文化および森林環境教育の振興 ( 環境森林部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) 森林の公益的機能を享受している

#### < 施策の数値目標 >

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
間伐実施面積	目標値		8,000ha	8,000ha	8,000ha
	実績値	7,452ha			

県内の民有林で行われる年間の間伐実施面積

施策目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
森林づくり参加者数	目標値	-	12,000 人	13,000 人	15,000 人
	実績値	11,596 人			

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 森林は、おいしい水やきれいな空気など、私たちの生活にとってかけがえのない多くの恩恵をもたらしています。これまで三重県の森林は、林業生産活動による「木を植え、育て、収穫し、また植える」緑の循環をとおして守り育てられてきましたが、木材価格の低下や需要の減少等により林業生産活動が停滞し、手入れ不足に加え、放置竹林の拡大やシカ等の獣害により森林の荒廃や公益的機能の低下が懸念されています。
- ・ 森林の恩恵は広く県民に享受されていることから、今後の森林づくりにおいては、多様な主体による「木を使う」「森林を守る」などの森林づくりにつながる具体的な行動を広めるとともに、林業経営をとおした森林の保全を進めるなど、社会全体で森林づくりを支えるしくみづくりが課題となっています。

#### < 平成 20 年度 of 取組方向 >

環境林については、強度の間伐による針広混交林への誘導などにより、森林の持つ公益的機能が継続的に発揮される森林づくりを進めるとともに、生産林については、林業生産活動をとおして公益的機能の発揮をはかるため、比較的林齢の高い本県の森林の現況に応じて、高齢級森林の間伐促進、放置竹林の整備促進、獣害対策など適切な森林管理を進めます。

県民の森林に対する理解を深めて森林づくりへの参画意識の醸成をはかり、「森林は大切」という意識を「森林を守る」という具体的な行動に結びつけるとともに、地域内の連携や地域間の交流を活性化して、地域社会全体で支える森林づくりを進めます。

<主な事業>

(重) 森林環境創造事業【基本事業名：42201 環境林整備の推進】

予算額： 392,554千円 296,316千円

事業概要： 環境林に区分された森林のうち、所有者から20年間管理委託を受けた森林を公共財として位置づけ、森林の公益的機能が持続的に発揮されるよう、間伐などにより針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行うなど多様な森林づくりを行います。

(重) 環境林整備治山事業【基本事業名：42201 環境林整備の推進】

予算額： 182,500千円 164,000千円

事業概要： 居住地などの上流部に位置する環境林内の保安林等において、災害に強い森林づくりのための間伐を実施します。

(重) 造林事業【基本事業名：42202 生産林整備の推進】

予算額： 388,691千円 332,626千円

事業概要： 森林の公益的機能の高度発揮をはかるため、植栽、下刈、間伐等の森林整備を促進します。

(重) 高齢林整備間伐促進事業【基本事業名：42202 生産林整備の推進】

予算額： 127,000千円 195,000千円

事業概要： 植栽から伐採までの育成期間の長期化に対応して森林を健全に育成するため、生産林において、高齢級(36年生以上)の森林の間伐を促進します。

(重) 森林とのふれあい・学び事業【42204 森林文化および森林環境教育の振興】

予算額： 8,941千円 9,069千円

事業概要： 森林環境教育の振興をはかるため、指導者の養成、フィールドの整備、体験教室の開催、学習推進にかかるコーディネートを実施します。また、森林文化の振興を図るため、森林や木とのふれあいを促進する各種事業を実施します。

(重) 多様な主体による森林づくり事業【42203 森林づくりへの県民参画の推進】

予算額： 3,985千円 3,336千円

事業概要： 森林環境に関心を寄せる企業による「企業の森」づくりや、ボランティアによる「ボランティアの森」づくりを促進するため、森林所有者との仲介や技術サポートをします。また、森林管理に関する課題の解消に向け、住民、企業、NPO等が連携して取り組むための場づくりなどを行います。

竹林整備・利用モデル事業【42203 森林づくりへの県民参画の推進】

予算額： 2,000千円 2,000千円

事業概要： 放置竹林による被害を軽減するため、市町や自治会、ボランティア団体等による竹林の実態調査、竹林等の整備及び利用を支援して、地域の実情に応じた竹林の整備と利活用、伐採竹の有効利用のモデルづくりを促進するとともに、その事例の普及を図ります。

【参考：間伐対策への取組について】

間伐にかかる予算額	計：	1,691百万円	1,605百万円
間伐面積	計：	8,000ha	8,005ha